

小規模・高齢化集落支援モデル事業の取組事例

大分県竹田市（^{たけだし}神原^{こうばる}集落連携促進協議会）

1. 協議会の概要

（平成22年3月作成）

協議会名		神原集落連携促進協議会	
構成員	市町村名	大分県竹田市	—
	小規模・高齢化集落名	井手の上集落	22名
	協定集落名	吐合集落	5名
	その他構成員	大分県(豊肥振興局)	—
対象農用地面積 7.1ha		田 7.1ha	畑 — 草地等 —
交付金額(H21総事業費) 73.0万円		水路、農道等保安全管理支援事業 支援活動推進事業	71.0万円 2.0万円

2. 取組の概要

■地域の概要

大分県竹田市は、九州のほぼ中央、大分県の南西部に位置し、熊本県と宮崎県に接しており、周囲をくじゅう連山、阿蘇外輪山、祖母傾連山など九州を代表する山々に囲まれ、標高250m～600m以上の準高冷地に属し、地形は起伏に富んでいます。

現在、中山間地域等直接支払制度に176協定が取り組んでおり、1,095haで実施されています。

神原集落は竹田市の南部に位置し、農家戸数19戸、高齢化率67%で、祖母山の麓、標高約500mで周囲を山で囲まれた山間の地域です。井手の上、吐合、横平の3自治会で構成され、吐合、横平集落については平成12年から中山間地域等直接支払制度に取り組んでいますが、井手の上集落については高齢化、担い手の不足等から取組を検討したものの、これまで見送っていました。

井手の上、吐合集落については、地区内の交流施設「おだまき」を拠点としたグリーンツーリズム活動に連携して取り組んできた経緯があり、民泊や農作業体験をはじめ、様々な行事で協力を行ってきました。

■活動に至った経緯

井手の上、吐合集落は、相互の交流が以前から続いており、農作業についても吐合集落の担い手が、井手の上集落内に耕作農地を有していました。このため、水路、農道等の管理作業について協力して行くことに抵抗なく、吐合集落から5名の担い手を作業支援に選出し、協議会を設立するに至りました。

■保全管理活動の概要

平成20年度

- ・ 9月17日に協議会の設立総会を開催。
- ・ 頭首工からの取り入れ水路の管理作業を実施。
- ・ 農道の堆積土砂除去作業を実施。
- ・ 頭首工に堆積した砂利の除去作業。
- ・ 水路の布設替え。
- ・ 水路の嵩上げ実施。

平成21年度

- ・ 重機をリースしての頭首工に堆積した砂利の除去作業。
- ・ 水路、農道の草刈り等維持管理作業。
- ・ 素掘り水路の改修作業。

(パイプを設置し、維持管理のための労力軽減を図った。)

■活動に取り組んだ後の効果

これまで不便を感じながらも対症療法的に使用していた老朽水路等の改善や、維持管理の労力低減を図ることができました。また、作業を行うにあたっての労力の確保にもつながり、機械のリースを活用するなど短時間で大きな保全管理効果を得ることができました。

2年間の活動を通じ、連携先が取り組む別事業への関心も高まり、中山間地域等直接支払制度取り組みへの検討も行われ、保全活動継続への意欲が高まっています。



井出の上集落風景



農道土砂除去作業



水路布施替え作業



頭首工管理作業



協議会の打ち合わせ



素掘り水路へのパイプ設置